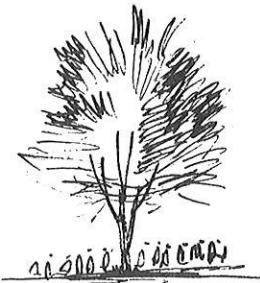


光の子



No.132 2008.11.25

●今年の聖句 一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。
だが、死ねば、多くの実を結ぶ。(ヨハネ福音書12章24節)



「玉入れ」

挿絵・中島英子

「かなかんしぐれ」

しろたへの雲を一刷け今朝の秋

爽やかに尻っぱしよりの男かな

かなかなしぐれ湯上りの盆の雀

風の盆果て水音に囲まるる

鳶の輪の二重に三重に浦は秋

積み上げてあるとろ箱に秋日濃し

産土の神よ仏よ今年米

俳人 篠 まどか

そんなドラマのプロセスの中で、私がいつも感心することは、犯罪に拘つたとみられる容疑者が、刑事に問いつめられる段階で、「何月何日の何時ごろあなたはどこにいましたか?」と問われ、即座に「その時はどこで何をしていました。」と答える場面である。普通の人は、そんなに自分の行動を記憶できるものだろうかと、いつも思ってしまう。特別な行事や行動については、それは良く覚えてもらいたいようが、平凡な日常生活に関して正確に記憶しているということは、むずかしいのではないか。したがつてテレビの容疑者がスラスラと自分のアリバイを主張するのを見ていると、いつも感心させられるのである。「誰でもあんなにはつ

忘れ物

きた。大変便利なカメラで、大切にし、きれいに咲いた花や、これはと思った風景などをやたらに撮っていた。單なる記録であれば良いし、何かの参考になればそれで充分という態度である。

大切なカメラなので、車から離れる時などは、外から見えないように膝掛けなどで隠しておいた。また、家を留守にする時などは、窓ぎわで外から見えるような所には置かず、どこかちょっと見えない所に置いて出るよう心がけていた。

ところが、この大切なカメラが見つからなくなってしまったのである。外出した時、バスの網だなに置き忘れてきたか、それとも、会議か何かの時に、机の下のちょっとした空間につっこんで忘れてしまったか。家の中で可能性

「オレはそんな所には入れないよ。」と私は言った。全く記憶がない。「でも、うちには二人しかいないんだから。」と、家内は私を置き忘れ犯と決めていた。

でも、あるいはそうかも知れない。急いで外出する時、ヒヨイとゴミ箱にカメラを隠したのかも知れない。そして、そこは、隠した本人にも見つからない程、完璧な隠し場所だったのかも知ないのである。おかげで、私は殆ど同じ型のカメラを二台持つことになってしまった。

大変恥ずかしい話だが、実は、忘れ物については、まだ一つある。これも、家の中で騒いでいるだけで、余り人に

つていてはなかなか見つからないでし
ょうけど。或いはまた、ゴミ箱の中か
な?」などと、同情心のカケラもない
言い草である。「そうだなあ、エンジ
ン付きのゴミ箱と言われる車の中も見
ようか。」と言つて探してみたが、や
っぱり見つからない。どうでも良いよ
うなものがヒヨッコり出てきたりで、
全くどうにもならない。やっぱりどこ
かに置き忘れてきたのかも知れない。
どうも、最近、探しものばかりしてい
るようで、われながらいやになる。

青いビニールの表紙の、丸々とどじ
込みのあるファイル。どなたか、どこ
かでこんなのが見かけましたら、警察
に届ける前に、ぜひ私にご連絡いただ
きたいのです。

よろしくお願ひします。

彫刻家
中島 瞳雄

今年の夏休みも海や山など楽し いひとときを過ごさせていただき、 たくさん思い出をつくることができ ました。ありがとうございました。 おかげで今まで、皆で元気に実 りの季節を迎えることができま す。おうちには帰ることにな った仲間との別れの淋しさは ありました。が、また新しい幼い仲 間がやってきて笑顔の数とにぎや かさは変わりません。早いもので 今年度も中間地点を過ぎました 担当者を中心とした「自立支援計画」に照らし合わせて、それ に半年分の成長を加えた子どもた ちひとりひとりについて、達成さ れたことと次の課題を全職員でで

きるだけ丁寧に確認しているところです。

「足りないよ。もつと。もつと。」という子どもの声が聞こえてきそうな、かかわりの追いつかないと、子ども時代の豊かな可能性にハッとさせられることもしばしばです。

「自立支援計画」という名称のようには、最終的には、自立ということが目標になります。果てしない、時には全く先が見えない、その地点まで、子どもたちの必要に応じて伴走していきます。ほとんど区切りのないその過程の中の、「今」というその時間の重要さ、かけがえのなさは言うまでもありません。かかる者すべてが、さまざまな視点から成長への手がかりを見つける情報を共有して、役割分担をしながら年度末へ、そして「次」の準備につなげていきます。

子どもたちは、さまざま家庭の事情により県内の各児童相談所を通じてこの「家」にやってきました。やつとたどりついた、と言った方がいいかも知れません。出会うことができたこと、共に生きていくことができるという感謝を伝え続けていきます。普通の暮ら

しを楽しめる関係ができるようになるにつれて、さまざまな表情をみせてくれます。恐れや怒り、悲しさ、寂しさの質量に圧倒されしまうこともあります。できる限り受容していくこと、喜怒哀楽を共感していくこと、寝食を共にしながらただそばにいることで、関係は少しずつ家族のように近づいていきます。

それと共に子どもたち自身の家族への深い想いを再確認している毎日です。「自分はどうして、ここにいるのだろう。」「どうしておとうさんやおかあさんと暮らせるのだろう」「おかあさんは、どうして来てくれないのだろう。」

聞いてみたいけど、こわい、わかりたいけど、むずかしい、何が何だかわからなくなってしまう程の強い疑問につきあたることは、決して少なくありません。計り知れない重さは私たちの想像を超えていきます。それにどれだけ誠実に応えを準備していくかも、「自立支援計画」の大きな柱になります。それを自身で受容し、乗り越えなければならぬ事柄を乗り越えられるよう祈ることしかできない思いのものとて役割を分担して取り組んでいきます。



しを楽しめる関係ができるようになるにつれて、さまざまな表情をみせてくれます。恐れや怒り、悲しき、寂しさの質量に圧倒され共感していくこと、寝食を共にしてしまうこともあります。できる限ながらただそばにいることで、関係は少しずつ家族のように近づいていきます。

それと共に子どもたち自身の家族への深い想いを再確認している毎日です。「自分はどうして、ここにいるのだろう。」「どうしておとうさんやおかあさんと暮らせないのだろう」「おかあさんは、どうして来てくれないのでだろう。」

聞いてみたいけど、こわい、わかりたいけど、むずかしい、何が何だかわからなくなってしまう程の強い疑問につきあたることは、決して少なくありません。計り知れない重さは私たちの想像を超えています。それにどれだけ誠実に応えを準備していくかも、「自立支援計画」の大きな柱になります。それを自身で受容し、乗り越えなければならぬ事柄を乗り越えられるよう祈ることしかできない思いのもので役割を分担して取り組んでいきます。

ある所はすべて探した。しかし見つからない。せつかくの兄の好意に対し申し訳ない。途方にくれてしまつた。一ヶ月くらいたつと、もう出て来たるものと諦め、一大決心をして新しいカメラを買うことにした。なくしたカメラとほぼ同じようなのを買って「ほら、安かつたから買ってきた。」と、家内には過小申告をしておいた。やはりカメラは何かと便利である。

それから一週間くらいたつた日に「こんな所にあつたよ。」と、事もあってなくした筈のカメラを家内が持つてゐる。何と、タタミの部屋の窓近くにあるゴミ箱の中に入っていたという。「オレはそんな所には入れないよ。」と私は言つた。全く記憶がない。「でも、うちには二人しかいないんだから。」と、家内は私を置き忘れ犯と決めていた。

でも、あるいはそうかも知れない。急いで外出する時、ヒヨイとゴミ箱にカメラを隠したのかも知れない。そして、そこは、隠した本人にも見つからない程、完璧な隠し場所だったのかも知ないのである。おかげで、私は殆ど同じ型のカメラを一台持つことになってしまった。

大変恥ずかしい話だが、実は、忘れ物については、まだ一つある。これも、家中で騒いでいるだけで、余り人に

は話していないのだが。

最近、大切な書類などをとじ込んでおくファイルが見つからなくなつてしまつたのである。青いビニールの表紙がついている便利な書類ばさみ。これがないと、大変に不便である。そこで、いつも使っている机のまわりや、アトリエの隅っこにある机のあたりを探してみたが、見つからない。我が家で最も安全な物置である応接間にも見あたらない。「車の中なんかにあるんじゃないの?」と家内は言う。「もつとも、車のトランクなんてあんなに乱雑になつていてはなかなか見つかんないでしようけど。或いはまた、ゴミ箱の中かな?」などと、同情心のかarellaもない言い草である。「そうだなあ、エンジン付きのゴミ箱と言われる車の中も見ようか。」と言つて探してみたが、やっぱり見つからない。どうでも良いようなものがヒヨックリ出てきたりで、全くどうにもならない。やっぱりどこかに置き忘れてきたのかも知れない。どうも、最近、探しものばかりしているようで、われながらいやになる。

青いビニールの表紙の、丸々とどじ込みのあるファイル。どなたか、どこかでこんなのが見かけましたら、警察に届ける前に、ぜひ私にご連絡いただけます。

夢の国ではなかったパラグアイ、
でも私はこの国が好きだ

JICAシニア海外ボランティア 仙道 富十郎

やはり長期間滞在すると、短期旅行者には見えなかつたものも見えてくる。

JICAシニア海外ボランティア

身分証明書を紛失してしまい、再交付を受けるために、事故証明書の申請に警察を訪れたときのことである。決められた日に行つたのだが、「そんなものは上がつてしまつていい」と言う。困つてしまつたのであるが、この夢の国ではなかつた。

シオンのメインストリートには
Avenida Mariscal Lopezと彼の名
前が付されている。彼はこの戦争
で戦死したのだが、その誠実さと

早いもので、パラグアイに来てすでに一年近くが過ぎた。そしてこの間、十月には一ヶ月健康診断のために日本に帰国し、帰路は妻を伴つてパラグアイへやつてきたこれから妻と共同のパラグアイ滞

この国への訪問

この国への訪問は今回で十四回目になるのだが、短期旅行者には夢の国のように見えていたが、やはり長期間滞在すると、短期旅行者には見えなかつたものも見えてくる。

もつとも驚かされたことの一つは、警察の腐敗ぶりである。タクシーに財布

こんな経験をしても私もやはりパラグアイ人が好きである。一八六〇年台、我が国の明治維新のころ、パラグアイはブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ三国を相手に戦った三国同盟戦争に敗れて大きく国土を失い、また成人男子の半分以上が戦死した。この負け

ひかりのご

お見舞い

東大宮教会

♪あらのは～て～ ゆうひ
はお～ちて～♪ 今年は早々と十一月から、クリスマスの愛餐会での歌を、かわいい声で練習していくます。選曲はこちらで何曲かの候補を挙げておき、それを一曲ずつまずCDで聴き、次に実際に歌つてみます。聴いた印象と実際に歌つてみた印象は違ってきます。そうしていくうちに、何となく皆が乗つて歌っている曲がわかります。でも最後は、自己決定。皆に良いと思った曲に挙手してもらいます。今回は二人程違う曲に挙手していましたが、他は全てこの曲に一致しました。

と皆が思うようを持つていく。そうすれば、その後がスムーズに行く。ということを私自身が学んだからです。今の所、否定的な言葉はまだ聞こえず、元気に歌つている様子に（このまま続いて…）と祈っています。

さて、我が幼稚科さんのメンバーエにも色々な変化がありました。まず、長い間教師としてたくさんの方の奉仕をして下さっていました西貝洋子さんが、お怪我をされ、手術をし、退院されました。リハビリに向けて闘病中の身にあります。「いのちきらめく方々の祈り」の時には、笑顔で感謝の御言葉を述べておりましたのに、その僅か一週間後のことです。小さな子ども達と、「どうか神様が共に歩んで下さいますように。痛みを和らげ、心身をお支え下さいますように。」と祈るのみです。子ども達が描いてくれたお見舞のお手紙(絵)もお届けしましたが、とても喜んで下さいました。

して、思わず抱きしめてしまいました。言葉では発しませんでしたが、その表情にお別れに来たという決心が見られました。新たな生活にも神様の守りと支えがあります様、祈るものでです。

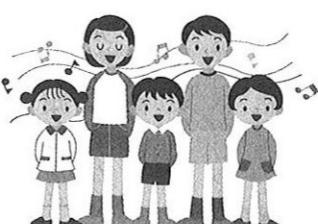
今年度からヘルパーとして、難波江由紀さんが奉仕に加わって下さいました。新たに二人の男の子が加わり、慣れていない上、けんかをしてしまったり泣いたりという場面にしつかりと対応して頂けるので、感謝です。

新入のF君は穏やかでおとなしく、微笑みがとつても愛らしいお子さんです。話しているこちらの方にしつかりと目も心も向けられるお子さんです。G君は、明るく元気一杯。とても人なつっこく、甘え上手かな?二回目に教会に来た時に、前の席に座っていた私所にわざわざ来て顔をのぞき込み確認して(やっぱりそうだ)と言わんばかりの笑顔は、可愛かったのです。

この頃は皆、大分落ち着いてき

子も「静かに、手をお膝に置きましょう。皆に配るまで待ちましょう」のお約束を守れました。日々成長し、落ち着いて行く子ども達の方々のお働きの上に、神様の守りとお導きがあります様、心よりお祈りいたします。

クリスマスが近づいて来ました子ども達と声と心を合わせて、神様を讃美しましょう。



勇敢さのゆえに国の英雄とする、そんな情緒的なものの感じ方が、日本人に通じるからかもしれない。パラグアイとの関係を持つたことのある日本人には実にオアラグアイファンが多いのである。

お世話になつてゐるアッセンシオン大学保健科学研究所は、基礎医学研究所と病院の臨床検査部の機能を併せ持つており、研究者の九十パーセント以上が女性である。皆なかなか勇ましい。議論を始めると、機関銃のように言葉が飛び出し、いつまでも続く。スペイン語が良く出来ないから、ほとんど理解できないのだが、話の中に数字がポンポンと入つてくるあたりは見上げたものである。議論に卓越しているだけではなく、ここの研究者たちは全体として實に優秀な人たちである。私とこの研究所の調査團の一員として訪れたのが最初である。今回訪れて驚かされたり、JICAのプロジェクト

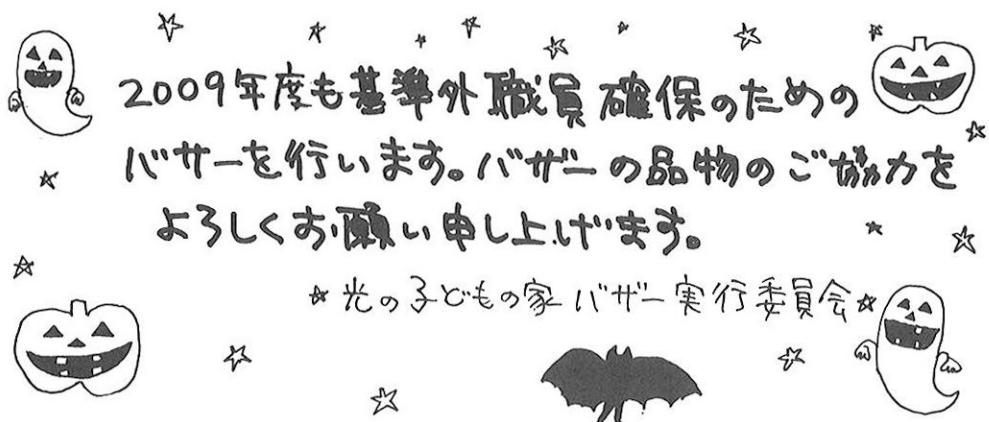
い場合もあると聞くなか、この研究所の物持の良さは見上げたものであり、しつかりとした研究を開してきた証と言えよう。

私はといえば、こんな優秀な女性研究者の間でもみくちゃにされるとききや、結構大事にしてもらい、自分で言うのもなんだが、研究全体の方向性について指導するという仕事は予想以上に順調に進んでいる。すべては、私の仕事の主なパートナーである、この研究所のなかでも飛び切り優秀な日系二世の病理学者のお陰であり、感謝している。

最近、どうしても分からぬことにでくわし、少し困惑している。首都アスンシオンの出産の四十パーセント以上が、帝王切開であるというのである。私たちの常識としては、帝王切開は正常分娩が困難な場合だけに行われるものと思っていたのだが——。心優しき人々の国パラグアイにもなにかおかしながらことが起きはじめているのだろうか。

Aから供与された機器の多くがまだ稼働していることである。JICAの他のプロジェクトでは、高額な機器が導入されたのに、管理維持ができなくて使用されていな

An illustration showing a cluster of small, round fruits, possibly hawthorn berries, arranged around a larger, spiny fruit at the top.



日誌抄 = 子どもと創る暮らしの風景 =

2008年6月1日▶7月末日

2008年6月

- 幼児3名 小学生18名 中学生6名 高校生7名 措置外
5名 計39名
- 7日 第14回ちいさくても大バザーを開催 基準外職員確保の為のバザーには毎年多数の方々に物品をご協力頂きました今年も後援会 しづくの会 礼羽ボランティア 青山キリスト教学生会 聖学院大学と多くの方々に当日のご助力を頂きました 心から感謝
- 10日 佐藤広司くん入所 まだ小さくてニコニコ笑顔の素敵な広司くんを高野真夕子保育士が担当 出逢いを心から喜びながら大切に育ち合う
- 11日 株式会社ジンコーポレーション様3名による博多人情号での博多とんこつラーメンのプレゼント 中には9杯も平らげた中学生もいて本当に腹も心も満足でした 感謝
- 13日 プロマラソンランナー井上真悟様とプロメッセンジャー落合洋介様来訪 お二人の貴重な体験談に子どもたちは興味津々 井上様にはサハラマラソンの際に手に入れたサハラ砂漠の砂の入った小瓶を頂き目を輝かせる子どもたち 感謝
- 18日 社会事業大学学生20名來訪 明日の福祉を担う若者へ光の子どもの家からのメッセージを込めて見学して頂く
- 24日 調査研究委員会へ田中施設長 子どもを取り巻くネット社会について各施設の実態調査報告 携帯を介したトラブルが多発しているという現状 対策まで至っていない

<6月の物品ご寄贈者>

須藤サヌ 神田美智子 松本明子 山口栄子 山本愛華 永島きよ子 木村作二 島崎なぎさ 関根和子 芹沢美保 梶原完富田農園 他多数の御各位様

7月

- 1日 今年もカリフォルニア州立ディヴィス大学よりインターナショナルでライアン・ギルクリストさん来日 これから夏の間の2ヶ月余りを子どもたちと過ごす
- 4日 夕礼拝の説教奉仕に新村牧師 その際教員の方からのお米を頂く 感謝
- 7日 小学校との連絡会 一人一人について成長を願いながら丁寧に情報交換と検討を重ねる
- 12日 後援会によるそば会 美味しいそばにうどん 長年のお支えに感謝
- 18日 夏休みオープニングパーティ 子どもたちの待ちに待った夏休み この夏の目標を発表しそれぞれの決意を固める
- 25日 小学3、4年生が1泊2日で白根山登山
- 29日 小学5、6年生が3泊4日で赤岳登山 谷本清光先生のアトリエに宿泊させて頂き数多くの貴重な経験を重ねる 長年のご支援に心から感謝

<7月の物品ご寄贈者>

大村真理 豊国道江 井上真悟 川口雅賀 浜田文昭 鈴木金藏 坪井宏彦 ステラ 白井直美 他多数の後各位様
子どもたちの生活がこんなにも豊かに彩られていること、皆様のご支援に心から感謝申し上げます (洋)

||||| ————— 反 射 光 ————— |||||

☆稻穂の刈り取られた田圃には細々とひこばえが寒風に揺れています☆年度も折り返し地点を過ぎて「自立支援計画」の見直しを進めています☆一人一人の成長を確認し年度末また中・長期的な課題と目標を設定する中で子どもたちの今年が見えてきます☆同時に今年も半分が過ぎましたが皆様の変わらぬご支援に心から感謝申し上げます☆先日十月一日に佐渡出身のアーティストであり光の子どもの家をご支援下さっているYAMATO Oさんが「月」というミニアルバムでメジャーデビューサれました☆今後のご活躍を陰ながらお祈りしております☆夏休みが過ぎて二人の子どもが家に戻り一人がこの「家」にやつてきました☆今後のご活躍を陰ながらお祈りしております☆子どもとこの「家」にやつてくる子の両方が再スタート☆にやつてきました☆家に帰る子どもとこの「家」にやつてくる子の両方が再スタート☆送り出し迎え入れる私たちはその両者の応援者となり伴走します☆しかし尚も力の足りない私たちです☆今後ともご支援をよろしくお願ひいたし

(洋)